

# 一生懸命と涙

校長 佐藤 宏美

新井田小学校のシンボルと言える三種類の大樹（すずかけ・さくら・いちよう）が、それぞれの秋色の葉になり、落葉しています。中でも、いちようはたくさんの銀杏を落とし、鳥たち（ヒヨドリ）に幸せをあげています。

10月末に開催した学習発表会にはたくさんの保護者・来賓の皆様においでいただきありがとうございました。2年ぶりの開催で、1・2年生は生まれて初めて大きなステージでの発表ではなかったかと思っています。

学習発表会をするにあたって新井田小学校では、1・3・5年生は音楽的な内容を、2・4・6年生は劇的な内容で発表することを4月におよそ決めています。7～8月頃には、今年度の発表する内容を決めています。どの学年のどの発表も、一番先に子どものどの力を伸ばしたいのかを考えます。次に音楽的な発表の場合は、先生が子どもたちの様子をよく考えて楽譜を集めます。そして、構成や当日の流れ等を考えて決めていきます。2・4・6年生の先生方は、今年度はどんな内容の劇にするのかを、今までの経験や他校の情報を参考にしながら決めていきます。

このようにして、発表内容を決めたあとは子どもたちと相談しながら役割を決めたり、小道具を作ったりしながら練習していきます。

今年、私は子どもたちに

「一生懸命やったと自分で言える学習発表会」

「一生懸命やったねと言われる学習発表会」

にしようと言いました。それぞれの子どもが一生懸命やったという満足感、充実感、成就感を感じ、味わって欲しい、心を豊かにして欲しいと思っていたからです。

当日、子どもたちは全力を出し、最高の演奏、最高の声、最高の表情を発揮してくれました。特に6年生は満足したすがすがしい表情を見せてくれました。

最後まで見てくださった方々の中には、涙を流している方もいらっしゃいました。私は涙を流した観客の皆様、涙を流せる観客の皆様の素敵な心に感動していました。きっと、演奏・歌・劇の内容ばかりではなく、子どもたちの一生懸命な心や態度が観客の皆様に伝わったのだと思います。

子ども・保護者・先生方の思いが伝わり合う学校、子どもの心が豊かに広がる学校でありたいと強く強く思った一日でした。